



藤本 みのる 通信

Vol 279

2017年12月5日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

大月短大が公開研究会

「地方創生」をめぐる議論の整理と

農山村地域政策の課題 (榎平龍宏准教授)

大月市が「消滅可能性自治体」と名指しされて以降、漠然とした不安感が広がっていましたが、この研究発表はそれを振り払い、元気を出していこうとエールを送る内容でした。今後の指針とすべく共感した提起を紹介させていただきます。

- 「地方創生」真の目的は、地域の魅力を高め「田園回帰」の受け皿をつくること（地域みがき）
- 行政の効率性と地域住民の生活の質・豊かさ向上とは無関係
- 補助金などの自助努力によらない所得増加は、域内住民の努力を全く必要としないため、通常よりも早く地域の基礎体力を減価させる
- 農村地域政策の変化：交付金→補助金→補助人地域おこし協力隊（H28 までに約 4000 人）等
- 自前の資源や人材に依拠した内発的地域発展から、外部企業や人材と共通の価値観で共鳴しあう「共発的地域発展」への展開も。地域内の信頼にもとづく基礎体力の醸成が重要
- 時代にふさわしい地域の価値を住民主体で創り出し、上乗せしていくプロセスこそ、真の地域づくり

道路の段差が補修されました

久保地内センター交差点



藤崎地内日月橋



お手伝いしているデイサービスの送迎で良く通る所です。段差が気になったことから、ご近所にも声をかけ、まとめて補修をお願いしていました

【藤本みのる活動日誌】

11月29日(水) 大月短大ポリティカル・エコミー研究会(岩殿ホール)

12月 1日(金) 笑いの家とのうえ・家びらき

12月 4日(月) 一般質問発言通告(11日の4番目)